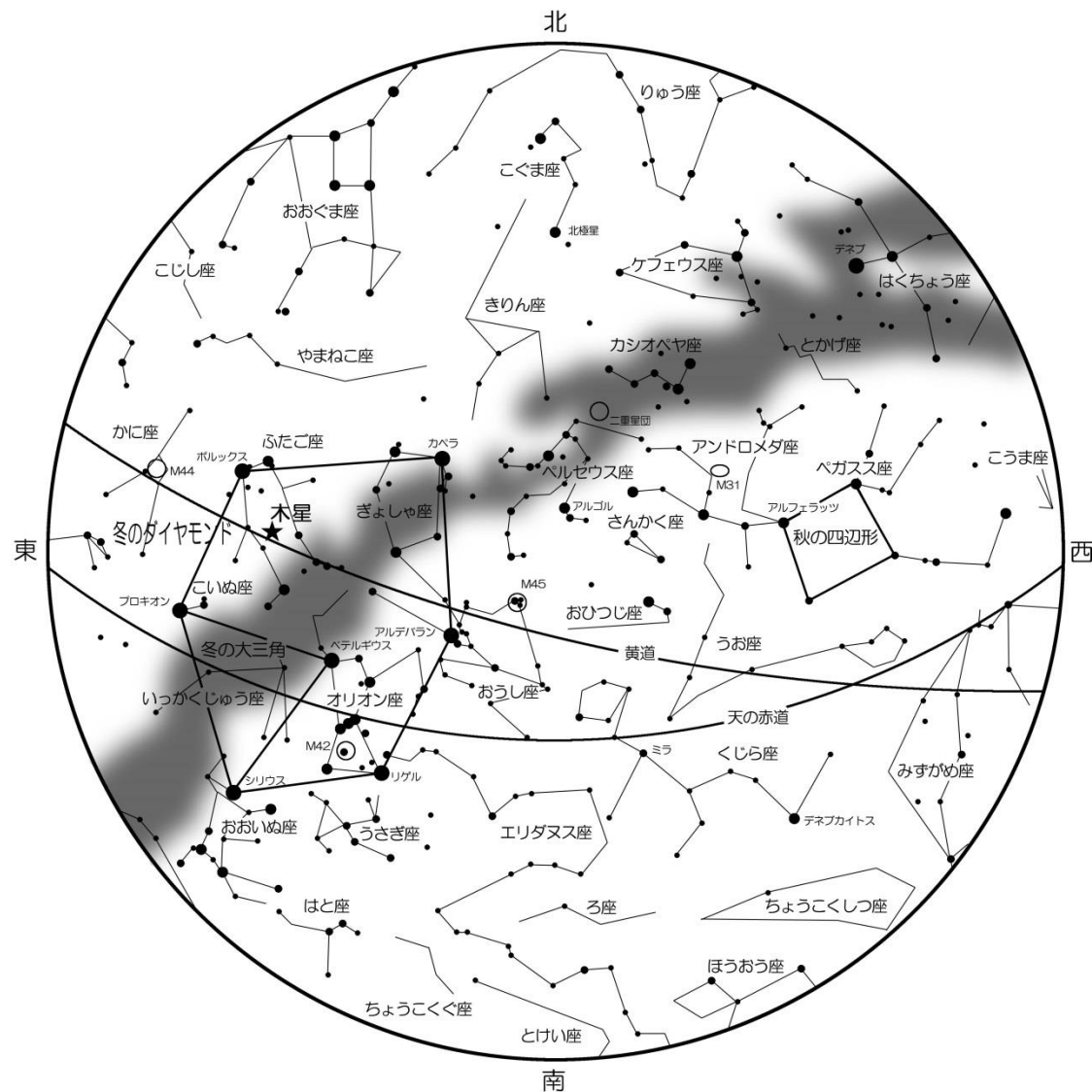


平成26年 1月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



★1月の星空案内

真冬なのに、頭の上から西にかけては、明るい星は少ないもののロマンティックな秋の星座たちが輝いています。そして、東の空には、7つもの1等星がにぎやかに飾る冬の星座たちの登場です。

冬の星座探しはオリオン座からスタートです。オリオン座は1等星2個、2等星5個からなる最も形の整った星座の1つです。1列に並んだ3つの星“三つ星”を明るい4つの星が取り囲んでいる星の並びが目印。オリオン座の左上で輝く赤い1等星がベテルギウス(脇の下)、右下で輝いているのが青白い1等星のリゲル(左足)です。このオリオン座の“三つ星”を北西(右上)にのぼしとオレンジに輝くおうし座の1等星アルデバランにぶつかります。さらにのぼすと青白く輝く星の集団M45プレアデス星団“すばる”が見つかります。反対に“三つ星”を南東(左下)にのぼすと全天で最も明るく輝くおおいて座の1等星シリウス(約-1.5等)にぶつかります。そしてオリオン座の東側には、こいて座の1等星プロキオンがあります。このプロキオンとおおいて座のシリウス、オリオン座のベテルギウスを結んでできる三角形を“冬の大三角”といい、冬の星座探しのよい目印になります。そしてオリオン座の北側、ちょうどオリオンの頭上でやや黄色っぽく輝いているのがぎよしゃ座の1等星カペラです。そのカペラの東側には明るい星が2つ並んだふたご座を見ることができます。左側の明るい星が1等星のポルックス(弟)で、右側が2等星のカストル(兄)です。そして、ぎよしゃ座のカペラを頂点にして、ふたご座のポルックス、こいて座のプロキオン、おおいて座のシリウス、オリオン座のリゲル、おうし座のアルデバランと6つの1等星を結んでできる大きな六角形を“冬のダイヤモンド”といいます。

また、三大流星群の一つに数えられる「しぶんぎ座流星群」のピークは、4日午前4時頃と予想されています。月明かりの影響も無く、好条件です。夜空に注目してみてもいいかもしれません。

このように、冬の星空は大変にぎやかです。寒さで窓を閉め切っていることが多いかもしれませんが、暖かい格好をして、ほんの短い時間だけでも美しい星空を眺めてみませんか。きっと、きらびやかな冬の星たちが皆さんを出迎えてくれることでしょう。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
1	水	元日 初日の出(07:22 久留米) ● 新月(20:14)	11	土	金星が内合(09:55)
4	土	しぶんぎ座流星群が極大(04:00)	16	木	○ 満月(13:52)
6	月	木星がふたご座で衝(06:31)	24	金	● 下弦(14:19)
8	水	● 上弦(12:39)	31	金	● 新月(06:39) 水星が東方最大離角(18:58)

<現在見える惑星>

水星:-1.0等前後 やぎ座付近 日没後 西南西の空低く(中旬まで観察に適さない)
金星:-4.3等前後 いて座付近 夜明け前 東南東の空低く(下旬まで観察に適さない)
火星:0.6等前後 おとめ座付近 午前6時頃 南の空
木星:-2.7等前後 ふたご座付近 21時頃南東の空
土星:0.6等前後 てんびん座付近 午前6時頃南南東の空